

晴れの国岡山から

明るい地域医療の未来を考える！

― 千年の歴史を持つ備前焼発祥の地で、多職種連携を深める ―



備前焼



八塔寺ふるさと村（吉永）



日生諸島

備前市



開催日

平成30年 **5月18日(金)・19日(土)**

会場

岡山県医師会館 三木記念ホール

研究施設

備前市国民健康保険市立 備前病院
備前市国民健康保険市立 日生病院
備前市国民健康保険市立 吉永病院
備前市介護老人保健施設 備前さつき苑
特別史跡 旧閑谷学校
備前市立 備前焼ミュージアム

主催) 公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会
公益社団法人国民健康保険中央会
岡山県国民健康保険診療施設運営協議会
岡山県国民健康保険団体連合会

市立備前病院



備前病院は、昭和29年3月に3町1村による15床の組合隔離病棟として発足し、昭和30年4月に診療所、昭和32年4月には内科病院となり、増床を重ねながら昭和45年7月に現在地へ移転し、備前市の西部と隣接する瀬戸内市長船町や岡山市東区の一部地域を診療圏に、一般病床100床で地域の中核的病院として、また、岡山市内等の基幹病院の後方支援病院として初期から二次救急まで担当してきました。

平成8年に備前さつき苑を併設し、平成24年1月には、築後40年が経過し老朽化が著しくなったため病院棟を全面建替えて、一般病床90床で現在の病院を開院しております。

平成26年7月からは、より地域に必要なとされる病院を目指して地域包括ケア病床を設け、平成28年2月からは、一般病床のうち44床を医療療養型病床に転床し、うち地域包括ケア病床を22床設けています。

今後も、国保直診として地域包括ケアシステムの中核を担い、医療、介護サービスを将来にわたり安定して提供できるよう、地域の診療所等と一層の連携、協力を図り、地域医療全体の充実に取り組めます。

市立吉永病院



吉永病院は昭和31年に病床数3床の診療所として開設されました。何度かの増床を経て、現在、病床数は50床で19科の診療を行っています。

平成18年4月に新築移転し、総合保健施設を併設しています。当院から関連施設の2診療所と隣町の国保診療所へ出診しています。

当院は前院長（現病院事業管理者）が国協協の地域包括・ケアシステムの実効性や先見性に感銘し、比較的早くからその構築に取り組んできました。現在、居宅介護支援事業所、通所リハビリテーションがあり、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ等を行っており、地域の医療・介護施設等との連携を深めています。

当院は「できるだけ救急依頼、時間外患者を受ける」、「遠くの病院に行かないで済むよう、専門外来を増やし、ミニ総合病院化をめざす」、「毎土曜日半日診療」等を掲げ、実行してきました。

今後、多様化する地域のニーズに応えられる病院でありたいと考えています。

備前さつき苑



備前さつき苑は、平成8年9月に地域包括ケアの観点から、備前病院に併設する形で老人保健施設として訪問看護ステーション等も含めて開設され、現在に至っております。

入所及び短期入所の定員80人、通所リハビリテーションの定員30人で、介護予防も実施しています。

一年を通して、季節にあった行事やレクリエーションを催し、「明るく家庭的な雰囲気の中、ご利用者さまの意思を尊重し、心身の特性に応じた看護、介護及びリハビリテーション等のサービスを提供するように努めます」を施設の理念とし、ご利用者さまやご家族さまと施設職員が常にコミュニケーションをとりながら、介護サービスを提供しています。

また、市立備前病院との併設老健施設としてのメリットを生かして、医療スタッフと連携をとりながら、医療・看護・介護・リハビリテーションを提供しています。

介護老人保健施設・通所リハビリテーション・居宅介護支援事業所・居宅介護支援センターの総合的サポートで、ご利用者さま・ご家族さまが満足できるようお手伝いをさせていただきます。

市立日生病院



日生病院は、大正12年に設立された岡山県でも最古の公立病院の一つであります。

平成18年3月、瀬戸内の海を見渡すことのできる現在の場所に新築移転し、一般病床40床、療養病床52床を有する、日生地域で唯一の入院機能を持つ医療機関として運営を行っています。

慢性期を担う療養病床やリハビリテーション設備の充実を図ることを目指しており、リハビリ室には海を見渡すことのできる景観を活かした「リハビリ庭園」を設置しました。海からの心地よい潮風を感じることで、気分転換を図りながら機能回復訓練等を行っています。

地域の医療機関として、すべての治療を日生病院で完結することが理想だとは思いますが、現実的には不可能であります。そのため当院では、患者の病状を的確に把握し、より専門的な治療が必要な場合は最適な医療機関へお願いし、容体が安定すれば、その後は当院で治療を継続していただくといった「身の丈にあった診療」を常に心がけていくことで、これからも地域住民に信頼され、必要とされる病院であり続けたいと考えています。

